




【入院診療計画書：経尿道的ホルミニウムレーザー前立腺核出術を受けられる患者様へ】

ID

- 【 病名： 前立腺肥大症 】 氏名 様
- 【 特別な栄養管理の必要性 : あり なし ※当院では、管理栄養士による栄養評価を行い必要に応じて栄養指導させていただきます。】
- 【 栄養計画 : 食ありの場合→院内約束食事箋に基づき適切な栄養管理に努めます。 食止めの場合→絶飲食の為の輸液管理を行い適切な栄養管理に努めます。】
- 【 総合的機能評価 : あり なし ※総合的機能評価を行う場合の評価結果は別紙にてご説明させていただきます。】

注：病名/入院期間等は、現時点で考えられるもので検査や治療、病態により変更となる場合があります。

経過	手術前日	当日手術前	当日手術後
日時	月 日 ()	月 日 ()	日 ()
目標	<input type="checkbox"/> 入院・手術の流れが理解できる。 <input type="checkbox"/> 手術に対する不明点を尋ねることができる。 <input type="checkbox"/> 不安が最小限で、手術を受けることができる。		<input type="checkbox"/> 血尿が比色2以下で保つことができ、尿の管が詰まらない。 <input type="checkbox"/> お腹や尿の管による痛みが、疼痛が痛みの評価表を用いて中等度以下でコントロールできる。 <input type="checkbox"/> 麻酔の副作用(頭痛/吐き気など)の症状がない。
食事	<input type="checkbox"/> 手術前日の24時以降は食事不可(禁酒)です。 <input type="checkbox"/> 飲水は手術当日(:)まで可。(水・麦茶・アルジネードウォーター)		<input type="checkbox"/> 全身麻酔の場合術後3時間程度で飲食可となります。 <input type="checkbox"/> 腰椎麻酔の場合足が動くようになれば飲食可となります。
治療処置	<input type="checkbox"/> 手術に備えて禁煙しましょう。 	<input type="checkbox"/> 義歯・装飾品、湿布などは外して手術着に着替えます。 <input type="checkbox"/> 体温・血圧などを測ります。 <input type="checkbox"/> ご用意いただいたT字帯は看護師がお預かりします。 <input type="checkbox"/> 血栓予防のために弾性ストッキングを着用します。 <input type="checkbox"/> 点滴をします。	<input type="checkbox"/> 血液をサラサラにする薬以外の内服薬は再開となります <input type="checkbox"/> 膀胱に溜った尿を自然に出す管が入っています。また、手術直後から持続的に膀胱洗浄を行います。 <input type="checkbox"/> 点滴は継続します。 <input type="checkbox"/> 体温・血圧などを測ります。 <input type="checkbox"/> 全身麻酔の場合、麻酔科医が指定した時間まで酸素マスク、心電図モニター、フットポンプを装着します。 
安静度	<input type="checkbox"/> 制限はありません。		<input type="checkbox"/> 術後は翌日までベッド上安静です。
説明指導	<input type="checkbox"/> 手術前日までに入院・手術のオリエンテーションをします。 <input type="checkbox"/> 内服に関して ・休薬() ・休止薬以外の朝の内服は必ずいつも通り飲んで下さい。 () <input type="checkbox"/> 男性はひげを剃ってきて下さい。 <input type="checkbox"/> お化粧品/マニキュア類はしないで下さい。 <input type="checkbox"/> 全身麻酔の方はどなたか付添いをお願いします。 <input type="checkbox"/> 手術時は送迎、公共の交通機関で来院して下さい。		<input type="checkbox"/> 付き添いの方は、手術が終わったら医師より説明があります。看護師が手術室へ案内しますので病室か談話室でお待ちください。 

経過 日時	手術翌日 月 日()	手術後2日目 月 日()	手術後3日目～6日目 月 日()～月 日()	退院日 月 日()
目標	<input type="checkbox"/> 血尿比色2以下で保つことができ、尿の管が詰まらない。 <input type="checkbox"/> お腹や尿の管による痛みが、痛みの評価表を用いて中等度以下でコントロールできる。	<input type="checkbox"/> 尿の管を抜いた後、排尿があり残尿が100ml以下となる。 <input type="checkbox"/> 血尿が比色2以下を保つことができる。		<input type="checkbox"/> 不明な点について尋ねることができ、退院後の生活への不安が最小限である。 <input type="checkbox"/> 入院時の日常生活動作状態(ADL評価(DPC)を用いて)で退院できる。
治療処置	<input type="checkbox"/> 点滴は継続します。抗生剤の点滴が1日2回(朝5時・夕方17時頃)にあります。 <input type="checkbox"/> 尿の管が入っている場合は、感染を防ぐために陰部洗浄を行います。 <input type="checkbox"/> 医師が尿の状態をみて持続的な膀胱洗浄を中止します。その後、血尿が強くなり尿の出る管が詰まってしまった場合、再度膀胱を洗浄することがあります。	<input type="checkbox"/> 夕方の抗生剤が終了したら点滴の針を抜きます。	<input type="checkbox"/> 術後3日目から抗生剤が内服に変わります。 <input type="checkbox"/> 医師が尿の状態をみて尿の管を抜くタイミングを判断します。 <input type="checkbox"/> 尿の管を抜いたあとは、血尿の有無、尿量を確認しますので、指定された袋に尿を溜めていただきます。 <input type="checkbox"/> 排尿後に残尿の測定をします。	<input type="checkbox"/> 薬剤師より退院薬の説明があります。
安静度	<input type="checkbox"/> 初回の歩行は看護師と一緒に歩きます。問題なければその後の歩行は自立となります。 <input type="checkbox"/> 弾性ストッキングは、歩行可能となり問題なければ脱いでもかまいません。	<input type="checkbox"/> 制限はありません。		
説明指導	<input type="checkbox"/> 血尿の排泄を促すため、積極的に飲水をしましょう。		★退院がきまったら <input type="checkbox"/> 次回の外来は、退院してから2～4週間前後です。予約表をお渡ししますのでご確認下さい。 <input type="checkbox"/> 退院時間は午前10～11時になります。 <input type="checkbox"/> 血尿が強くなったり、尿が出なくなった時は、 泌尿器科外来 までお問い合わせ下さい。 なお、診療時間外は救急外来受診で対応させていただきます。	

上記、入院診療計画について十分な説明を受けましたので同意いたします。		同意年月日		平成 年 月 日	
本人/親族 または代理人(続柄)		説明医師	印	説明看護師	